

## 教 員 公 募 情 報

1. 講 座 等 名 大学院教育学研究科（高度教職実践専攻）
2. 職名及び人員 教授または准教授（実務家教員） 1名  
\* 年俸制適用職員
3. 専 門 分 野 大学院 高度教職実践
4. 資 格 教職について、特に優れた知識及び経験を有する者  
大学院において、大学院生の研究指導または研究指導補助ができる者
5. 年 齢 不問（ただし、本学大学教員の定年は65歳である）
6. 担当予定授業科目 大学院 学校教育の課題と教員（共同担当）、これからの時代の学校教育のあり方（共同担当）、授業実践と学級づくり（共同担当）、道徳教育の開発（共同担当）教師に求められるリーダーシップと同僚性の今日的課題（共同担当）、学校経営と生徒指導の計画及び組織・運営（共同担当）、事例研究 ～
7. 採用予定年月日 平成24年 4 月 1 日
8. 公 募 締 切 日 平成23年12月22日（木）17時必着
9. 提 出 書 類 経歴書（北海道教育大学教員選考規則別記様式第4号） 3部  
研究業績書（同規則別記様式第5号） 3部  
\* 次に示す教育実践における研究業績等  
・ 著書、全国的教育誌への論文・実践記録等の執筆  
・ 研究会等の授業公開・研究発表、研究団体等の研究実績、受賞歴  
・ 研究会・研修会の指導及び助言実績（教育講演会等の講師を含む）  
\* 学術論文は、審査制度が明確な学会誌等に掲載された論文（「レフェリー付き論文」とそれ以外（「大学の紀要等」とに分類すること  
研究業績に記載した全ての著書、学術論文等（複写物可） 各3部  
主要業績5点について、それぞれ400字程度の概要 各3部  
教育上の実績（同規則別記様式第6号） 3部

管理運営に関わる貢献（同規則別記様式第7号）	3部
社会的活動に関わる貢献（同規則別記様式第8号）	3部
学校教育を中心とした教育への深い理解と関心 （同規則別記様式第9号）	3部
主要担当予定科目の授業計画（同規則別記様式第10号）	各3部
「授業実践と学級づくり」（2単位・15回の共通科目講義）と「道徳教育の 開発」（2単位・15回の授業開発コース専門科目講義）について授業科目 の概要を提出してください。	
応募者の連絡先	1部
（電話番号、携帯電話番号及びE-mailアドレス）様式任意	

上記様式は、(<http://www.sap.hokkyodai.ac.jp/>)からダウンロード可能です。ダウンロードできない場合は、北海道教育大学事務局総務部人事課人材開発グループ(E-mail [s-jinzai@j.hokkyodai.ac.jp](mailto:s-jinzai@j.hokkyodai.ac.jp))へお問い合わせください。

上記のほか、独立行政法人科学技術振興機構の研究者人材データベース(<http://jrecin.jst.go.jp>)からもダウンロードできます。

10. 応募書類の提出先  
及び問い合わせ先

（応募書類の提出先）

〒085-8580 北海道釧路市城山1丁目15番55号  
北海道教育大学事務局釧路校室 総務・附属学校グループ気付  
選考委員会委員長 宛  
TEL 0154-44-3216 FAX 0154-44-3218

応募書類は、一括して書留便とし、封筒に「教員公募（教職大学院）関係書類在中」と朱書きすること（宅配便の場合は送り状に明記すること）。

（応募書類の入手先）

- ・北海道教育大学釧路校公式ホームページ  
[http://www.kus.hokkyodai.ac.jp/koubo/formats/koubo\\_formats.html](http://www.kus.hokkyodai.ac.jp/koubo/formats/koubo_formats.html)
- ・独立行政法人科学技術振興機構の研究者人材データベース  
<http://jrecin.jst.go.jp>

（公募内容に関する問い合わせ先）

北海道教育大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻  
教授 栢野彰秀  
TEL 0154-44-3326 E-mail [kayano.akihide.k.hokkyodai.ac.jp](mailto:kayano.akihide.k.hokkyodai.ac.jp)  
（ は半角@に直してください）

北海道教育大学事務局釧路校室総務・附属学校グループ  
TEL 0154-44-3216 E-mail kus-somu@j.hokkyodai.ac.jp

(給与等に関する問い合わせ先)

北海道教育大学事務局総務部人事課人材開発グループ  
TEL 011-778-0216 E-mail s-jinzai@j.hokkyodai.ac.jp

## 11.その他

- 1) 提出書類は「書留」とし、表に「教員公募(教職大学院)関係書類在中」と朱書きしてください。研究者教員の場合と同一の書式になっていますので、実務家教員として書きにくい場合はお問い合わせください。
- 2) 選考結果については、教職大学院長から直接本人にご連絡いたします。
- 3) 提出された著書、学術論文等は審査終了後返却いたします。
- 4) 候補者については面接(釧路市を予定)を行います。その際の旅費等は支給されませんので、あらかじめご了承ください。  
また、採用候補者として選考された応募者については、別途、本学役員による面接(札幌市を予定)を実施します。詳細については、後日ご連絡いたします。
- 5) 本学は、男女共同参画に配慮しており、女性の積極的な応募を期待します。
- 6) 北海道道東地域の小・中・高(特別支援を含む)等と連携をとり、これらの学校や教員とともに授業開発に関する実践的・実証的研究及び研究指導が行えることが望ましい。教科指導に関する指導的役割を果たす行政指導経験や教員に対する指導的役割を果たす管理職等の経験があることが望ましい。
- 7) 教職大学院専任教員として求められる業務を担当します。  
(担当する授業の他、学校課題俯瞰実習、自己課題解決・検証実習、リーダー力育成基礎実習・、学校課題解決・検証実習等の指導、マイオリジナルブック作成等の指導を行います。)
- 8) 給与は年俸制で、教授480万円、准教授420万円となります。
- 9) 英語を用いてのコミュニケーションができる応募者については、「9 提出書類」に示す書類のほか、語学力の参考として「語学力(英語)質問事項」を提出してください。様式のダウンロードは提出書類と同様です。
- 10) 必要に応じて、他のキャンパスの授業および学部の授業を担当することがあります。
- 11) 大学の運営状況の変化等により、主たる勤務地が変更になる場合があります。
- 12) 提出書類に含まれる個人情報については、選考及び採用以外の目的には使用いたしません。
- 13) 釧路市或いはその近郊に居住いただくこととなります。